



本 建 160号
平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 様

本巢市長

内藤正



道路の中期的な計画の作成にあたっての意見について (回答)

このことについて、平成19年4月2日付国道企第114号で提出依頼を受けましたので、別紙により提出いたします。

《道路の中期的な計画の作成にあたっての意見》

岐阜県 本巣市長 内藤 正行

● 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

行財政改革の目的で平成の大合併が推進され、一方で地方の時代といわれる中、いかに生き残りを図るかが各自治体の抱えた大きな課題であります。生き残りのためには、地域の活性化が求められており、その根幹となる道路網の整備は必要不可欠なものであります。

このような状況の中にあつて、中京圏域におきまして東海環状自動車道路の東回りルートが完成し、その周辺におきましては工業団地等への企業進出が活発化し大きな経済効果があつたと伺っております。

引き続き西回りルートの整備が進められておりまして、国の進める高速ネットワークの効率的活用・機能強化のためにも早期の整備が望まれるところであります。

また、本市を經由し北陸圏に繋ぐルートは国道157号と県道藤橋根尾線を経て国道417号に至る2路線がありますが、いずれも中部圏と北陸圏を最短距離で結ぶ路線であり、両圏域の活発な交流が図られ大きな経済効果が望まれるところであります。また、観光面においても、ルート途中に湛水開始した日本最大の徳山ダムがあり、観光客も増加傾向にありまして幹線道路としての重要な役割を担っていると考えます。

しかしながら、これらの道路において一部が未整備で、行き止まりに近い状況にありまして早期の整備が待たれているところです。

このように、地域に根ざした広域道路ネットワークの強化は、地域に活力を与えるとともに、より多くの経済効果を生み出すことから、特に優先的・重点的な整備が必要と考えます。

● 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

昨今、一部のマスメディア等で無駄な道路整備が多いとか、緊急性がないなど公共事業不要論がささやかれますが、地方における道路は、いまだ未整備箇所も多くあり、利便性が悪く、道路の安全面においても十分とはいえず、地域の弱体化が懸念されるなか、道路整備への要望は後を絶ちません。当然、全ての要望に応えることはできないと考えますが、住民の理解を得ながら真に必要な道路整備を、重点的に、効率的に進めていただくことは非常に重要なことと考えます。

効率的に進める上で重視していただきたいこととしては、従来、基準に合わせなければ補助がいただけないということで、全国一律に道路整備がなされてきたきらいがあります。逆に、災害時等に交通止めになり地域が分断されるような道路も、基準に合わせようとすると費用対効果がないということで整備できないといった状況がありました。最近、地域の実情にあった基準、地域の必要性に見合った道路整備に留意されているようですが、今

後更にそういった観点で進めていただきたいと思います。

また、国においては厳しい財政状況のもと、工事の価格を下げるためのコスト縮減や高速道路における管理コストの縮減などのために道路関係四公団の民営化、さらには、橋梁の建設後50年以上経過したものについて、各自治体に効率的な管理を行わせるための長寿命化修繕計画の支援を行うなど、道路の日常的管理など、コスト縮減の徹底に努力をされていますが、将来、道路にかかる維持管理費は増加の一途をたどり、新たな道路計画ができなくなるのではないかと心配しております。

このことから、今後の道路計画策定にあたり、維持管理がしやすく、経費のかからない工法等についての徹底した検討を、国、県、市町村が一体となって早急に進めていく必要があると考えます。

● その他意見

地方においては、鉄道等の公共交通手段が財政難を理由に縮小、撤退等していく中で、自動車への依存度がさらに高まり、道路整備の必要性を痛切に感じているところであります。

国においては、厳しい財政事情のもとで、歳出削減を徹底し道路特定財源を見直すこととなりましたが、地域の道路整備に対するニーズを踏まえて必要性を具体的に精査し、重点化、効率化を進めながら、真に必要な道路は計画的に進めるといわれております。

この、真に必要な道路の捉え方ではありますが、とりわけ地方の道路で、特に過疎化が進行している地域では、利用効率が低いことを理由に道路整備を進めるうえで優先順位が低くなる傾向にあると思います。

そのためにいつまでも放置され、より過疎化が進んでいるのが現状であると考えます。現況では利用状況が芳しくなくても、この部分を整備すれば地域が生まれ変わり、より効果のある道路整備に繋がることもあることから、地域の実情を充分検証することが大切であると思います。

また、道路の整備をする時期についても時期を逃すと効果も薄れてしまうこともあり、早期の検討が必要であると考えます。